24 年 3 月25 日号
杉並版 第 290 号
1950 年 12 月 16 日第三種郵便物認可 1 部
140 円 月額 400円(郵送料月額 120 円)

平和新聞

発行 日本平和委員会
〒105-0014 東京都港区芝 1-4-9 平和会館
TEL03-3451-6377 FAX03-3461-6277
杉並平和委員会 川崎聡 TEL090-2531-5416
〒166-0015 杉並区成田東 1-49-7-709

軍隊は国民を守らず、米軍は日本を守らない

「軍隊は国民を守らない」は第二次世界大戦末期の沖縄戦を経て得た教訓です。’82年当時のワインバーガー米国防長官は「沖縄の海兵隊は日本の防衛に当てられていない」、’91年当時のチェイニー国防長官は「米軍が日本にいるのは日本を防衛するためではない。日本を常に米軍が出動できる前方基地として使用するためだ」と言明した。アメリカは日米安保条約で日本を守るとは言っていないのだ。

うるま市住民の声を聴け

防衛省は、沖縄県うるま市石川に陸上自衛隊訓練場の新設を狙い、今年度予算に土地取得費を計上、26年度に工事を行う計画だ。1 月 24 日玉城デニー知事が木原稔防衛相と面会、「胸襟を開いて対話の機会を作ってほしい」と求めたのに対して木原氏は応ずる発言をしたが、住民の頭越しに行われた暴挙に保革を超えた反対の声が高まっている。自民党県連の島袋大幹事長は木原防衛相と国会内で面会し、計画の「白紙撤回」を求める県連の申し入れを行い「重く受け止める」との回答を得ていたという。

まだ基地機能が足りないというのか

今月21日には、うるま市の陸自勝連分屯地に沖縄本島初となる地対艦ミサイル連隊が配備され、与那国駐屯地には相手の通信機器の妨害などを行う「電子戦部隊」が追加配備された。鹿児島県沖で墜落死亡事故を起こして飛行を停止していた米軍オスプレイの飛行再開が強行されると、追随する形で陸自オスプレイが千葉県木更津駐屯地上空で飛行を開始した。沖縄県米軍嘉手納基地では、「例外的な場合」に限るとされていた危険なパラシュート降下訓練が連続して強行されている。宮古島駐屯地にはミサイル部隊、電子戦部隊、保良弾薬庫の整備が予定され、石垣駐屯地ではミサイル部隊と訓練場の整備が、与那国駐屯地にも地対空ミサイル部隊配備と駐屯地拡張が予定されている。

東京都と同じくらいの面積の沖縄県に、日本の米軍基地の70%が集中し、加えて自衛隊の大増強が狙われている。「相手から真っ先に狙われる」という県民の不安は現実的だ。「日本を取り巻く状況は緊迫している」「現実問題として攻められたらどうするか」と恐怖感をあおり、対中国を念頭とする西南諸島の軍事要塞化が進められている。

「軍事対軍事」で国民は守れない

本土でも、ミサイルを含む弾薬庫130か所が建設されようとしている。「抑止力」に頼る軍拡競争が「日本を取り巻く情勢」を一層緊迫させているのではないか。これでは「政府は国民を守らない」ということになりはしまいか。（加藤恵子）

被爆者・近藤紘子さん
ー憎しみの連鎖を断ち切るー
「My God, What have we done!」

３月20日、杉並公友会が主催し、高円寺障害者交流館で行われた講演会に参加しました。

生後８か月のときに広島で被爆した近藤紘子(こうこ)さんのお話と、昨年ニューヨークで開催された核兵器禁止条約締約国会議に参加された大学生・中村涼香さんのお話でした。

近藤紘子さんのご尊父谷本牧師は原爆でやけどなどを負った女性を米国で治療を受けさせるなど平和活動をされていました。米国テレビに出演依頼を受け、紘子さんはじめご家族も渡米、そこには原爆を投下したエノラ・ゲイに搭乗したロバート・ルイス氏もいらして、憎しみを抑えられずにいた紘子さんは、ルイス氏が原爆を投下した直後の広島の街を見て、当日の飛行日誌に「神様、私たちはなんてことをしてしまったのでしょう」と記した話を聞きました。彼の目には涙があふれていたそうです。「彼も自分たちと同じように苦しんでいた」と思ったそうです。留学、帰国後しばらくは「自分が被爆者だと言うまい」と決めていました。被爆者を研究材料としかみない米国ABCC(原爆障害調査委員会)による「検診」という名の人権侵害に深く傷ついていたからです。

現在は、毎年米国の学生に広島や長崎を案内して語り部を続けておられます。「戦争という大きな渦の中にも、広島の街には人が住んでいて、そこには普通の暮らしがあったということを知ってもらいたい」「国同士が争っている場合ではなく、全世界で取り組んでいかなくてはならない課題が核兵器廃絶。どこの国も持つべきではありません」。紘子さんが伝えたいことです。

小柄ながら張りのある大きな声で、ジョークを交えながらのお話に、私のほうが励まされたと思えた有意義なひと時でした。光友会はじめ企画に携わった方々にお礼を申し上げます。

中村涼香さんは、おばあ様が長崎の被爆者で、高校時代から長崎を拠点に核兵器廃絶を求める平和活動をされている現在大学生の若者です。「KNOW NUKES TOKYO」を設立し、その代表を努めています。お話の初めになぜ「KNOW」なのかという説明をされました。核兵器NOは当然です。また知ることが大切、原爆と聞くとつい78年前のことに戻ってしまうが、現在進行中の課題は多くその課題に取り組み問題提起をしていく、そして持続的でより広いアクションに取り組んでいきたいという決意が込められているとのことでした。

核禁条約が成立しましたが、核保有国が入らねば達成できないのでそれが重要課題、しかし条約はこれから育てていくものだという認識で活動している、その意味で締約国会議は重要ですと述べられました。その他気候問題、ジェンダー問題、日本の政治家に面会した時の「もやもやした感じ」など多岐にわたり、それが個別の問題ではなく関連しあう問題だと指摘され、頼もしく思うとともにたくさん学んだ１日でした。（加藤恵子）

石垣市長、１年のうち３分の１は不在 多すぎ? 適正?

石垣市市議会一般質問で、中山義隆市長の出張を巡り論戦が交わされた。「市民から市長は出張ばかり行って全然石垣にいないじゃないか」との声があるとして、市長の出張回数、日数、費用総額について質問され、翁長致純総務部長は 2023 年度の市長の出張回数は 41 回、日数は 111 日、費用総額は 397 万 350 円と答えた。質問した市議は、「出張は税金」だと指摘し「納税者である市民の理解」が必要だと訴えた。中山市長は離島の首長であることや、さまざまな役職での会合があるとして自身の出張に「正当性」があると反論した。(3/23 付琉球新報より一部抜粋) 沖縄デーの映画の舞台でもある石垣島の中山市長は基地受け入れ積極的賛成派。出張の目的は何か。疑念を持たれても仕方がない?

公明党、「死の商人」国家を承認？

自民、公明両党は日本が英国・イタリアと共同開発する次期戦闘機の第三国輸出解禁を合意し、政府は、武器輸出のルールを定めた「防衛装備移転三原則」の運用指針をさらに緩める閣議決定を行う予定だ。いうまでもなく戦闘機は「戦闘」が目的で殺傷能力を持つが、岸田首相は「平和国家としての基本原則は変わらない」と言う。公明党は初め「国民の理解を得られるような議論が重要」と慎重な姿勢を示したが、「二重の閣議決定を行う」などの「歯止め策」が盛り込まれたとして合意した。政府だけで行う閣議決定で「国民の理解」が得られるわけがない。

上智大の中野晃一教授は「今回も与党内でもめているのを国民に見せることで、政府から何かしら譲歩を引き出したように見せかけている」(東京新聞 3/16 付)と、前川喜平氏は「金魚の糞・コバンザメ・下駄の雪、今の公明党はどれだろう？」(東京新聞 3/10 付)と諷した。

公明党は「平和の党」の看板を下ろすか、公明党支持者も 63%が認めていない上記「輸出」を自民党に抗って反対するか、突きつけられているのではないか?

「経済安保情報保護法案」何を保護するのだろう?

「重要経済安保情報保護・活用法案」というらしいが、そんなややこしい名称は新聞にも見当たらない。「経済秘密保護法」と記述する新聞もあるが、その法案が衆議院審議入りした。与野党から懸念が相次いだ。岸田首相は「今後検討する」と繰り返したそうだが、「検討使」と揶揄された首相は、検討などせずに突き進むのではと危惧する。

懸念は、2013 年強行採決により成立した特定秘密法に「企業などの法人(＝民間人)が漏えいの罰則対象に新たに加わった」「機密指定基準など依然としてあいまいな点が目立ち、秘密指定の要件は国会が関与せず法案成立後に政府内で決める」「秘密を扱う人の政治思想や病歴、借金などの個人情報を調べ、拒否すれば不利益を受ける、事実上の強制で、思想・良心の自由、プライバシー権を踏みにじる憲法違反そのものだ」などなど尽きない。

民主国家であるとはいえないその体たらくに歯止めをかけられるのは、
国民とその声を代弁する政党だ。 (杉並平和委員会事務局員)

なんでも文芸欄

✿派閥やめ組･組長に呼び名変え　　髙木たかし

✿労災介護しついに九十四翁　　岩﨑健一

✿翔平の話題一番ニュースなり　　佐々木征

✿ネタニヤフ個人の怨嗟引っ込めよ　佐々木征
（兄の復讐のための）

映画鑑賞会
主催：杉並平和委員会

沖縄連帯デー

ミサイル基地がやってきた「島で生きる」

湯本雅典監督最新作

「2023 年 3 月、石垣島では陸上自衛隊ミサイル基地が完成した。住民投票を求める石垣市内の有権者による自衛隊配備の賛否を問う住民投票条例制定請求署名は有権者の 3 分の 1 以上にあたる 14263 筆が集まった。しかし、石垣市は未だに住民投票を実施していない。住民投票を求める若者たち、農民兼市議会議員、漁師など基地に反対する人々の想いを丹念につむぐ」

映画鑑賞後、千坂純さん(日本平和委員会・事務局長)のお話を交えて座談会を行う予定です。

お問い合わせ:090-2531-5416(川崎)

4月27日（土）

セシオン杉並視聴覚室
参加費 500 円

1：10～2：30　映画鑑賞
2：40～3：30　千坂純さんのお話と座談会

沖縄平和ツアーのお知らせ　7月11日(木)～13日(土)

今年は、名護市辺野古で続く新基地建設強行に抗議する行動に連帯する 2 泊 3 日の旅となる予定です。ぜひご一緒しましょう。ご連絡は（川崎）まで。